



魅力のある高校を目指して 金高生が表敬訪問

大槌高校視察への意気込みを語る佐藤夢斗くん

金ケ崎高校の生徒が7月7日、高橋由一町長を表敬訪問し、同校が取り組む魅力化促進について報告しました。

生徒数が減少傾向にある中、昨年度から県教育委員会が進めている高校の魅力化促進事業に取り組んでいる同校。魅力のある学校となるためには、学校環境を大きく変えること、そして生徒の希望や理想が実現する環境こそが大切であると考え、本年度は大槌高校を視察するなど、生徒の自発性や自主性を育む取り組みを行っています。

生徒会長の佐藤夢斗くんは「魅力化促進に取り組む中で校則を変えている高校が全国的に多く見られた。校則を変えた大槌高校の取り組みや、学校と大槌町の連携について学んでいきたい」と力強く話しました。

高橋町長は「金ケ崎高校は町にとっても大事な学校。高校の時の経験や選択は大切。自発性や自主性を育み、将来に生かしてほしい」と激励しました。

宮学校長は「これから変化の激しい時代になる。学校と自治体の繋がりも大切にしていきたい」と話していました。



経済や環境のバランスを確認する生徒たち



SDGs の理解深める

SDGs（持続可能な開発目標）研修会が7月15日、金ケ崎高校の1・2年生を対象に開かれました。まよひが企画の佐藤恒平さんを講師に招き、カードゲームを使いながら、SDGsの理念「誰ひとり取り残さない、ことの難しさや大切さを学びました。板垣瑠良くん（1年）は「経済や環境とのバランスをとるのは難しかったけど楽しかった。」と笑顔で話していました。

真剣な眼差しで講師の話聞く生徒たち



探究することの大切さを学ぶ

探究活動に関わる講演会が7月13日、金ケ崎高校の2年生を対象に開かれました。合同会社いと・をかしの岩隈大樹さんを講師に招き、地域おこしや移住した経験などを聞き、探究することの面白さなどを学びました。小原菜菜さん（2年）は「まちおこしに興味があったので、実際に話が聞けて良かった。自分でできることをやっていきたい」と目を輝かせていました。

農業の未来を考える 金ケ崎×スマート農業

1町内の集落単位では初めてとなる、ドローンを使ったカメムシ防除（8月6日、三ヶ尻中村地区）23自動走行するロボットトラクターの説明を受ける小学生たち（7月28日、スマート農業体験会）45小型ドローンや自動草刈り機にふれる小学生（7月28日、スマート農業体験会）67農業大学の温室制御ハウスを見学する参加者（8月2日、スマート農業普及研修会）8自動操縦機能搭載のトラクターを見学する参加者（8月2日、スマート農業普及研修会）

